

特定非営利活動法人
バイオマス北海道

2021年度
通常総会議案書



日時：2021年4月28日（水）

特定非営利活動法人バイオマス北海道

2021年度総会 議事次第

1. 理事長挨拶

2. 来賓ご挨拶 北海道環境生活部環境局気候変動対策課 ゼロカーボン担当課長 奈良 華織 様

3. 議事

① 議長選任

② 総会出席者・委任状取りまとめの報告

③ 審議

・第1号議案 2020年度事業報告および決算

・第2号議案 2021年度事業計画および予算

・第3号議案 役員選任の件

④ 議長退任

第1号議案 2020年度
事業報告および決算

2020年度の事業報告書

特定非営利活動法人バイオマス北海道

1 事業の成果

当法人の活動目的を達成するため、下記事業を中心に実施した。

- (1) バイオマス利活用を推進するための普及・啓発事業
- (2) バイオマス利活用を推進するための研究開発事業

2 事業の実施に関する事項

- (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
バイオマス 利活用を推 進するた めの普及・啓 発事業	○バイオマス利活用講座 の開催及びITを利用した 講座の公開 第1回	(A) 2020年 10月9日(金) (B) 北海道大学 工学部及びオン ライン方式 (C)3人	(D)道内外市町 村担当者、関 係団体等 (E) 40名	39
	○HP運営	(A)2020年4月1日～ 2021年3月31日ま で (B) 北海道大学 大学院工学研究 院 (C)3人	(D) 会員 (E) 43名	0
バイオマス 利活用を推 進するた めの研究開発 事業	○北大畜附分野バイオマスコ ミュニティプロジェクト分野との連携 事業	(A)2020年4月1日～ 2021年3月31日ま で (B)道内4市町村 (C)10人	(D)道内市町村 (E)不特定	35
	① 道内先進事例の視察 芽室視察	(A)2020年11月2日～3日 (B) 芽室 (C)5人	(D)道内市町村 (E) 不特定	

	<p>②・北海道大学バイオマスコミュニティプランニング分野 第2回シンポジウム</p> <p>・北海道バイオマスネットワークフォーラム2020 & 北海道大学寄附分野バイオマスコミュニティプランニング分野 第5回セミナー</p>	<p>(A) 2021年9月29日 (B) 全国町村会館(東京) & オンライン同時開催 (C) 10人</p> <p>(A) 2021年2月 (B) オンオンライン方式 (C) 10人</p>	<p>(D) 道内外市町村、関連事業者、一般国民など (E) 107人</p> <p>(D) 道内外市町村、関連事業者、一般国民など (E) 283人</p>	<p>72</p> <p>0</p>
<p>その他バイオマス利活用を推進するために必要と認められる事業</p>	<p>○バイオマスカフェの開催 ・第1回</p> <p>○会員研修 ・セミナー派遣 北海道大学バイオマスコミュニティプランニング分野 第2回シンポジウムへの派遣</p>	<p>(A) 2020年10月2日 (B) 札幌サンプラザ (C) 3人</p> <p>(A) 2021年9月29日 (B) 全国町村会館 & オンライン同時開催 (C) 10人</p>	<p>(D) 会員 (E) 11人</p> <p>(D) 道内外市町村、関連事業者、一般国民など (E) 9人</p>	<p>51</p> <p>9</p>

(2) その他の事業

なし

2020年度 NPOバイオマス北海道 活動一覧

I. 会議等

1. 総会の開催

日時 2020年4月28日

場所 書面総会

2. 理事会の開催

第1回 日時 2020年4月21日 書面

総会議案の審議

II. 事業の実施

1. バイオマス利活用を推進するための普及・啓発事業

1-1 地域を創るバイオマス利活用講座 2020

文責 伊藤、落合

バイオマス利活用講座は、例年2回実施していたが2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から1回のみで開催とした。

開催内容は、コロナウィルス禍で中止となった2020年度第2回講座のプログラムをそのまま実施することとした。

・開催日時：2020年10月9日（金）13:30～16:30

・開催方法（場所）：Zoomによりオンライン方式

会場は北海道大学工学部フロンティア棟1階セミナー室

・参加者数：オンライン参加 29名

会場参加	11名
------	-----

合計	40名
----	-----

・プログラム

1. 総論 ～バイオマス利活用～

落合 知 氏（NPO 法人バイオマス北海道 理事、北海道大学 特任助教）

2. 砂川地区保健衛生組合 生ごみバイオガス化施設の長寿命化工事

井谷 隆志 氏（鹿島建設株式会社 北海道支店 土木プロジェクト事務所 次長）

3. 鹿追町環境保全センター 家畜ふん尿のバイオガスプラントの改修工事

城石 賢一 氏（鹿追町 農業振興課 主幹）

4. 質疑応答+全体討議

司会 阿賀 裕英 氏（北海道立総合研究機構 主査）

登壇者 井谷 隆志 氏、白石 賢一 氏、落合 知 氏

①評価・反省点

- ・総論は、これまでの「バイオマスの定義と利活用方法」のほかに、これまでの循環型社会構築へ向けた廃棄物の処理からリサイクル社会への変革について説明するとともに、バイオマス利活用事業がいかに地域振興への貢献を果たすことができるかを「バイオマス利活用の意義」として示した。この講義により、新たな視点によるバイオマス利活用の重要性を改めて周知させることができた。
- ・総論での講演内容は、過去の利活用講座でも一度講演している部分も多く、改めて「バイオマスとは何か」を確認する点でよい機会になった。今後は、総論の後半部分に現在の社会情勢などを含めたものとしてはどうかと考えている。
- ・講演の選者は、更新時期を迎えたバイオガスプラントの改修工事をテーマに行った。今回の報告は、国内バイオガスプラントの中では早期に稼動した施設であることから、（改修工事は）先駆的事例であり、特にこれから更新時期を迎える事業者にとっては非常に興味深い内容であった。
- ・新型コロナウイルス感染防止の観点から、開催方法は（Zoom による）オンライン方式を基本とし、希望者にはリアル会場での参加も可能とした。今回はオンライン方式のため本州からの参加者もあり例年より参加増を期待したが、例年並みの参加者数であった（2018年度41名）。これはオンライン参加方式に参加者がまだ慣れていないことが原因であると推定される。オンライン形式での会議やセミナーが広まっているため、慣れの面での課題は今後徐々に解消されていくものと考ええる。
- ・オンラインと会場を中継した今回の形式については、参加者からはおおむね好評をいただいた。今後のNPOの活動展開の方法としてのベースができたものと考ええる。
- ・今回は市町村を対象にした講座を開催しなかったことから、市町村職員の参加を期待したところであるが、（講師以外の）市町村職員の参加者はゼロであった。

②改善点や今後の展望

- ・自治体職員の参加が増える方法を検討する。講演内容、PR方法など。
- ・オンライン方式の参加者を増やす検討を行う。
- ・バイオマス利活用の一般的方法論はほぼ周知できていることから、（今回のように）利活用における新たな意義について論ずることも検討する。例えば、寄附分野とのコラボレーション事業と関連させ、寄附分野が行っている「今後を見据えたケーススタディ」を紹介していただく。
- ・オンデマンド配信や質問のまとめなど、ホームページなどとの連動をしていきたい。

2. バイオマス利活用を推進するための研究開発事業

2-1 北大寄附分野との連携

<令和2年度の活動>

NPO バイオマス北海道の理事を含む寄附分野メンバーが、現地視察を行った。視察先は、興部町（2020年7月）、大樹町（2020年10月）、芽室町（2020年11月）、南幌町（2020年12月）であった。

<活動の内容>

- ①定期的に開催される Bio-Com.P 分野研究会に出席し、意見交換を行う。さらに求めに応じて、話題提供などを行う
- ②各ワーキンググループ（WG）が実施するフィージビリティスタディ（FS 調査）や現地調査などに同行し、技術アドバイスを行う。ここでいう技術アドバイスとは分析に必要な情報、情報の確からしさ、情報の取得可能性などを経験や見識からアドバイスを行う

現在以下の場所で FS 調査を行うこととしている。

- ・当別町（WG1）：廃棄物広域化処理をふまえた効率的な Dry-Wet 廃棄物の処理システム
- ・興部町（WG2）：酪農業由来のバイオマス利活用による地域づくり
- ・興部町（WG2）：資源作物を使った新たなバイオマスの利活用技術の開発
- ・十勝地域（WG2）：酪農業由来のバイオマスの利活用と地域づくり（耕畜連携）
- ・南幌町（WG2）：稲わらを中心とした農業残渣の利活用による地域づくり

<寄附分野の活動>

寄附分野バイオマスコミュニティプランニング分野では「廃棄物等およびバイオマス資源の循環・エネルギー利用を通じて、持続可能な地域コミュニティを計画するための技術・社会システムを産官学の連携で開発し提案する」という目的を掲げ、1.5～2ヶ月程度に1回程度の頻度で寄附会社から担当者数名ずつ参加した研究会を行っている。研究会では検討項目の一つとして「バイオマス利活用による自治体を対象としたバイオマス利活用のフィージビリティスタディ」を実際の自治体に出向き、情報収集および自治体の方々からのヒアリングを行う予定である。寄附分野では最終的には、実行性の高い（対象自治体の現状をきちんと踏まえる）フィージビリティスタディの結果を当該自治体に示し、バイオマス利活用の促進の一助となることを目指す。

<北大寄附分野への技術アドバイス事業>

寄附分野で行う「自治体を対象としたフィージビリティスタディ」を行うが、企業・大

学が主体の研究会であるため、知見や視点をさらに広げるため、住民視点や行政視点など広い見識と経験を持つ方からのアドバイスを必要としている。そこで、NPO バイオマス北海道で持つ様々な経験を、寄附分野研究会と共有することで、よりフィージビリティスタディの現実性が高まると考える。一方 NPO バイオマス北海道としても、寄附分野と共同で自治体と交流を持つことで、バイオマス利活用の推進の一助となると同時に、今後、自治体と NPO バイオマス北海道とが連携してバイオマス利活用を推進する際のきっかけの一つになるのではないかと考える。

<令和3年度 活動予定>

- ・1.5ヶ月に1回程度の頻度で開催される Bio-Com.P 分野の研究会に出席をする
- ・Bio-Com.P 分野が行う現地視察および情報収集に同行する。(適宜調整)
- ・Bio-Com.P 分野が主催として行うセミナー・シンポジウムでの運営の補助を行う。
- ・バイオマス利活用状況についてのアンケート調査を自治体の協力を得て実施する。

3. その他バイオマス利活用を推進するために必要と認められる事業

3-1 令和2年度 第1回「バイオマスカフェ」

実施日時：令和2年10月2日(金) 13:00~16:00

実施場所：札幌サンプラザ

参加人数：11名(含講演者)

提供話題：「バイオマスと微生物 ～ごみの適正処理のお話～」

講演者：落合 知 様(北海道大学大学院工学研究院 特任助教)

感想：今年度は初の試みとして大学外でのランチミーティング形式を採用し、ランチ後のカフェタイムにて、より和やかな雰囲気での自由な議論を目指しました。

参加者数は会場の新型コロナ対策のため、定員の1/2(15名)迄と制限しましたが、ほぼ例年通りとなりました。

講演は落合先生のご専門であるバイオマスと微生物の関係を主体としたお話が中心でしたが、意見交換では近年話題のマイクロプラスチックや生分解性プラスチックの定義、災害廃棄物処理および海外実施事例などについて、多岐に亘り活発な議論がなされました。

今年度はコロナ禍により残念ながら実施第1回のみ(第2回は延期)となりました。今後も NPO 会員の貴重な意見交換の場として、実施形式にとらわれず、このような機会を大切にしていくことが望ましいと考えます。

(文責：角田明彦)

2020年度 活動計算書
2020年4月1日から2021年3月31日まで
特定非営利活動法人 バイオマス北海道
(単位：円)

科目	特定非営利活動 に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費			
個人会員会費	79,000		79,000
企業・団体会員	510,000		510,000
うち（次年度分会費、負債相当分36,000）	-36,000		-36,000
2 受取寄附金			
受取寄附金	0		0
3 受取助成金等			
受取助成金等	0		0
4 事業収益			
事業収益等	72,000		72,000
5 その他収益			
受取利息	16	0	16
経常収益計	625,016	0	625,016
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	0		0
人件費計	0	0	0
(2) その他の経費			
謝金	0		0
旅費交通費	38,540		38,540
借料	0		0
負担金	9,000		9,000
会議費	158,355		158,355
予備費	605		605
その他経費計	206,500	0	206,500
事業費計	206,500	0	206,500
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	196,875		196,875
人件費計	196,875	0	196,875
(2) その他の経費			
備品・消耗品費	84		84
交通費	15,300		15,300
通信費	8,880		8,880
会議費	2,432		2,432
予備費	21,370		21,370
その他の経費計	48,066	0	48,066
管理費計	244,941	0	244,941
経常費用計	451,441	0	451,441
当期経常増減額	173,575	0	173,575
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
未収会費償却	0		0
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
当期正味財産増減額	173,575	0	173,575
前期繰越正味財産額	1,785,211	0	1,785,211
次期繰越正味財産額	1,958,786		1,958,786

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

	特定非営利活動に係る事業			その他の事業		事業部門計	管理部門	合計
	普及啓発・事業	研究開発事業	その他必要と認められる事業	受託事業	支援等の事業			
I 経常収益								
1. 受取会費						0	589,000	589,000
うち(次年度分会費、負債相当分36,000円)							△ 36,000	△ 36,000
2. 受取寄付金						0	0	0
5. その他収益						0	72,016	72,016
経常収益計	0	0	0	0	0	0	625,016	625,016
II 経常費用								
1. 事業費								
(1) 給料手当	0	0				0		0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
謝金	0	0				0		0
旅費交通費	38,540	0				38,540		38,540
借料		0	0			0		0
負担金			9,000			9,000		9,000
会議費	0	107,315	51,040			158,355		158,355
予備費	0	495	110			605		605
その他経費計	38,540	107,810	60,150	0	0	206,500	0	206,500
事業費計	38,540	107,810	60,150	0	0	206,500	0	206,500
2. 管理費								
(1) 人件費								
給料手当						0	196,875	196,875
人件費計	0	0	0	0	0	0	196,875	196,875
(2) その他経費								
備品・消耗品費						0	84	84
交通費						0	15,300	15,300
通信費						0	8,880	8,880
会議費						0	2,432	2,432
雑費						0	21,370	21,370
その他経費計	0	0	0	0	0	0	48,066	48,066
管理費計	0	0	0	0	0	0	244,941	244,941
経常費用計	38,540	107,810	60,150	0	0	206,500	244,941	451,441
当期経常増減額	△ 38,540	△ 107,810	△ 60,150	0	0	△ 206,500	380,075	173,575

2020年度 財産目録
2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 バイオマス北海道
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金			
銀行普通預金	1,994,786		
未収金			
未収金費	0		
流動資産合計		1,994,786	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,994,786
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
預り金	36,000		
流動負債合計	0	36,000	
2. 固定負債			
長期借入金			
固定負債合計	0	0	
負債合計			36,000
正味財産			1,958,786

2020年度 貸借対照表
2021年3月31日現在

特定非営利活動法人 バイオマス北海道
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,994,786		
流動資産合計		1,994,786	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,994,786
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	36,000		
流動負債合計		36,000	
2. 固定負債			
該当無し	0		
固定負債合計		0	
負債合計			36,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,785,211	
当期正味財産増減額		173,575	
正味財産合計			1,958,786
負債及び正味財産合計			1,994,786

会計監査報告書

特定非営利活動法人バイオマス北海道定款第15条6項に基づき、本法人の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの収支決算につき関係書類、帳簿の監査を行った結果、適正であると認める。

令和3年4月9日

特定非営利活動法人バイオマス北海道

監事 角田 明彦



第2号議案 2021年度
事業計画および予算（案）

2021年度事業計画書（案）

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人バイオマス北海道

1 事業実施の方針

- (1) バイオマス利活用を推進するための普及・啓発事業
- (2) バイオマス利活用を推進するための研究開発事業
- (3) その他バイオマス利活用を推進するために必要と認められる事業

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 予定 月日	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出 見込額 (千円)
バイオマス 利活用を推 進するた めの普及・啓 発 事業	○バイオマス利活用講座の開催及びITを利用した講座の公開	2021年4月1日～ 2022年3月31日 迄	札幌市内、道内各市町村 1回	3名	道内市町村担当者、関係団体等 200名	150
	○HPの運営	2021年4月1日～ 2022年3月31日 迄	大学内	2名	道内市町村担当者、関係団体等 200名	0
	○バイオマス関連NPOとの連携・交流	2021年4月1日～ 2022年3月31日 迄	札幌市内	5名	市内関係団体等 50名	50
バイオマス 利活用を推 進するた めの研究開 発 事業	○北大寄附分野バイオマスコミュニティランニングとの連携事業	2021年4月1日～ 2022年3月31日 迄	東京都、道内各市町村	20名	道内外市町村担当者、関係団体等 200名	700
	○市町村等との共同研究	2021年4月1日～ 2022年3月31日 迄	道内各市町村 2か所程度	4名	道内市町村担当者、関係団体等 30名	100
	○北海道バイオマスネットワーク会議との連携事業	2021年4月1日～ 2022年3月31日 迄	道内	10名	道内市町村担当者、関係団体等 200名	0

その他バイオマス活用を推進するために必要と認められる事業	○イベント補助 (イベント後援など)	2021年4月1日～ 2022年3月31日 迄で		10名	道内市町村担当者、一般道民など 50名	0
	○バイオマスカフェの 開催(2回)	2021年4月1日～ 2022年3月31日 迄で	市内 道内	5名	会員等20名	120
	○会員研修	2021年4月1日～ 2022年3月31日 迄で	市内	4名	会員43名	110
	①道内先端事例視察・ 展示会等(4回) ②関連セミナーへの 派遣	2021年4月1日～ 2022年3月31日 迄で	市内	20名	会員延べ20名	20

2021年度 活動計画計算書（案）

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人 バイオマス北海道
（単位：円）

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費			94,000
個人会員会費	94,000		
企業・団体会員会費	450,000		450,000
2 受取寄附金			0
3 受取助成金等			0
受取民間助成金	0		
4 事業収益			0
事業収益等	0		
5 その他収益			0
受取利息	0		
経常収益計	544,000	0	544,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			0
給料手当	0		
人件費計	0	0	0
(2) その他の経費			100,000
謝金	100,000		
旅費交通費	300,000		300,000
借料	0		0
負担金	70,000		70,000
会議費	180,000		180,000
予備費	100,000		100,000
その他経費計	750,000	0	750,000
事業費計	750,000	0	750,000
2. 管理費			
(1) 人件費			210,000
給料手当	210,000		
人件費計	210,000	0	210,000
(2) その他の経費			10,000
備品・消耗品費	10,000		
通信費	10,000		10,000
交通費	30,000		30,000
会議費	150,000		150,000
予備費	50,000		50,000
その他の経費計	250,000	0	250,000
管理費計	460,000	0	460,000
経常費用計	1,210,000	0	1,210,000
当期経常増減額	△ 666,000	0	△ 666,000
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 666,000	0	△ 666,000
前期繰越正味財産額	1,958,786	0	1,958,786
次期繰越正味財産額	1,292,786		1,292,786

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によつてい
ます。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によつています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位：円)

科 目	普及・啓発 事業	研究開発 事業	その他必要と 認められる 事業	受託 事業	支援等の 事業	事業部門計	管理部 門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費						0	544,000	544,000
2. 受取寄付金						0		0
3. 受取助成金等	0					0		0
4. 事業収益	0			0	0	0		0
5. その他収益						0		0
経常収益計	0	0	0	0	0	0	544,000	544,000
II 経常費用								
I. 事業費								
(1) 人件費								
給料手当	0	0	0	0	0			
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
謝金	100,000	0				100,000		100,000
旅費交通費	0	200,000	100,000	0	0	300,000		300,000
借料	0	0	0			0		0
負担金	50,000	0	20,000			70,000		70,000
会議費	0	50,000	130,000			180,000		180,000
予備費	50,000	50,000	0			100,000		100,000
その他経費計	200,000	300,000	250,000	0	0	750,000	0	750,000
事業費計	200,000	300,000	250,000	0	0	750,000	0	750,000
2. 管理費								
(1) 人件費								
給料手当	0	500,000	0	0	0	500,000	210,000	710,000
人件費計	0	500,000	0	0	0	500,000	210,000	710,000
(2) その他経費								
備品・消耗品費						0	10,000	10,000
通信費						0	10,000	10,000
交通費							30,000	30,000
会議費							150,000	150,000
予備費						0	50,000	50,000
その他経費計	0	0	0	0	0	0	250,000	250,000
管理費計	0	500,000	0	0	0	500,000	460,000	960,000
経常費用計	200,000	800,000	250,000	0	0	1,250,000	460,000	1,710,000
当期経常増減額	△ 200,000	△ 800,000	△ 250,000	0	0	△ 1,250,000	84,000	△ 1,166,000

第3号議案 役員選任の件

役員選任の件
役員(R3～R4年度)

役名	氏名
理事	阿賀 裕英
理事	石井 一英
理事	伊藤 俊裕
理事	落合 知
理事	川嶋 幸治
理事	石川 志保
理事	福間 博史
理事	角田 明彦
理事	坂田 和則
理事	松井 徹
監事	藤田 哲男
監事	堀内 奎井子

(参考) 退任役員一覧

理事	古市 徹
理事	渡部 和正
理事	町村 均
理事	佐藤 昌宏
監事	江頭 恵一